

大会名 2016 道東ブロックトレセンリーグ U-14

日時 2016年11月20日（日）

会場 網走（呼人） オホーツクドーム

結果①（10分—10分—15分）

根室 U-14	VS	道東 U-13
1	第1ピリオド	0
2	第2ピリオド	1
0	第3ピリオド	0
3	合計	1

結果②（10分—10分—15分）

根室 U-14	VS	網走 U-14
1	第1ピリオド	1
1	第2ピリオド	0
0	第3ピリオド	0
2	合計	1

結果③（10分—10分—15分）

根室 U-14	VS	十勝 U-14
0	第1ピリオド	1
0	第2ピリオド	0
0	第3ピリオド	2
0	合計	3

結果④（10分—10分—15分）

根室 U-14	VS	釧路 U-14
2	第1ピリオド	1
0	第2ピリオド	0
0	第3ピリオド	0
2	合計	1

<今大会の収穫と課題・今後に向けて>

今回は、7人制・3ピリオド制（第1ピリオドと第2ピリオドで選手が総入れ替え、第3ピリオドは自由交代という変則的な方式）のゲームであった。

当日は、召集選手の多くが欠席で、参加選手は合計8人であった。そのため、体力的には非常に厳しい状況の中でのゲームになった。しかし、U13のころからトレーニングで積み上げてきた、「スペースを管理した守備から、連動してボールを奪う」という部分のパフォーマンスは素晴らしいものがあり、指導者としても大きな喜びを感じることができた。

一方で、ナショナルトレセンや北海道トレセン・道東トレセンの選手が多数所属する十勝 TC とのゲームでは、「個」の部分で崩されてしまうことが多く、課題を感じた。また、攻撃の部分でもアクションの数が不足し、なかなか攻撃することができないなどの課題もみられた。

選手にとって、非常にタフな一日となり大変だったが、試合後、選手は良い表情をしており、他地区の選手と自分が同等のレベルでできたこと・できなかったことをこれまで以上に肌で感じる事ができ、選手にとって良い刺激になったのではないかと思う。

今回の遠征でこの世代の根室地トレセンとしての活動は一区切りを迎える。2年間、トレセン活動を通じて、彼らと接して、学んだことや感じたことが多くある。それらを今後の根室地区のサッカーに還元していきたいと思う。

2年間、様々な面で支えていただいた保護者の皆様、チーム関係者の皆様、ご協力本当にありがとうございました。